

令和5年度

社会福祉法人 本楯たちばな会

## 事業計画・予算書 (案)

事業所名		
(1)	本部	
(2)	軽費老人ホーム ケアハウス	「ふるさと」
(3)	保育所	「本楯保育園」
(4)	放課後児童健全育成事業	「鳥海学童クラブ」

# 目 次

1	本楯たちばな会基本方針	1 ページ
2	施設の概要	2 ページ
	(1) ケアハウス ふるさと	
	(2) 本楯保育園	
	(3) 鳥海学童クラブ	
3	職員配置	
	(1) ケアハウスふるさと・本楯保育園・鳥海学童クラブ	3 ページ
4	組織図	
	(1) 本部・ケアハウスふるさと・本楯保育園・鳥海学童クラブ	4 ページ
5	運営方針及び方法	
	(1) ケアハウスふるさと	5 ページ
	(2) 本楯保育園	8 ページ
	(3) 鳥海学童クラブ	9 ページ
6	会議	
	(1) 本部・ケアハウスふるさと・本楯保育園・鳥海学童クラブ	10 ページ
7	研修	
	(1) 本部・ケアハウスふるさと・本楯保育園・鳥海学童クラブ	10 ページ
8	年間・月行事予定	
	(1) ケアハウスふるさと 月間	11 ページ
	(2) ケアハウスふるさと 年間	12 ページ
	(3) 本楯保育園	13 ページ
	(4) 鳥海学童クラブ	13 ページ
9	収支予算書	
	(1) 令和5年度予算 全事業拠点区分合計	14 ページ
	(2) 令和5年度予算 本部	17 ページ
	(3) 令和5年度予算 軽費老人ホーム ケアハウス ふるさと	19 ページ
	(4) 令和5年度予算 保育所 本楯保育園	21 ページ
	(5) 令和5年度予算 放課後児童健全育成事業所 鳥海学童クラブ	23 ページ

## 1. 基本方針

本楯たちばな会は軽費老人ホーム(ケアハウス)「ふるさと」を開設運営をすることを目的とし、平成12年法人創設以来、今年度・令和5年で23年目に突入する。

昨年度は、世界規模でコロナの蔓延、それにウクライナ情勢が未だに収束の様相を見せず、その影響で、世界規模での経済の悪化、特にエネルギー関連をはじめとする全ての物価高騰の波が、直接我々まで押し寄せてきた。更に少子高齢化、特に少子化はコロナ問題も相まって想定以上に一気に進み、改善する気配どころか先が見えない状況である。

この様な情勢の中であったが、当法人ではコロナ感染対策が徹底され、その感染源になることも無く、事業を休止することもなく、結果として全部門経営的に赤字に陥ることなく乗り越えられそうである。

しかし今後は、更なる物価高や少子化等、想定外の様々な困難が予測される。我々はそれらに立ち向かう「更なる覚悟」を求められていると認識する。

ケアハウスの機能として、昨今は制度的な施設の本来の機能としての役割以上に、より重度化(困難ケース)への対応を求められてきている。入居の申込は人口の減少と相対的に推移すると見込まれているが、それと相反し、精神疾患やDV保護等による入居の相談が増加しているなど、利用する理由も開設時とはかなり様相が変わり、施設での対応も単独では難しくなっている。

しかし、当施設は数少ないほぼ措置に近い施設であるという認識のもと、時代の変化への対応や昨年は物価上昇による赤字を計上してしまったが、制度の見直しの要望や、さらに医療や行政との連携も含めた体制づくりをし、本来対応すべき対象者の受入状態の限界への挑戦を、継続的に続ける。

移管から満10年を迎える本楯保育園は、酒田市での出生数が年458人(R4年1年間)と激減している中だが、今年度の保育園利用の申込状況では、ほぼ前年度以上を確保できる見込である。

昨年の軽度障害児の人数は他園と比較しても異常に多く経過している。しかし、当保育園はこれまでどおり外部から専門家や大学教授からの助言や協力を得るなど、全国的に前例のない体制を模索しながら構築し、結果この困難な状況を乗り越えてきた。

今後も、園児の受け入れについては、どのような状況でも拒むことなく対応できるよう、大学や研究機関を含む専門家からの助言・協力を得ながら、職員のスキルアップを図ることはもちろんのこと、ICT化による職員の負担軽減を図る一方、経営努力による余力を、無償化による保護者の子育てにかかる負担軽減をできる限り進め、子供たちの健全育成に向けてより良い対応ができるよう取り組んでいく。

学童保育も無事7年目を迎えることができた。学童保育所として求められる機能も変化していると認識しているが、学習指導などいわば塾にも匹敵する対応ができるよう職員のスキルアップでの充実化を目指す。さらに貧困や格差対策等にも配慮しながら、その予兆を見逃すことなく対応するなど、学童保育所として求められる健全な子供たちの成長に貢献できるよう、必要と考えられるサポートのあり方自体を模索しながら、更なる学童としての機能の実現と充実を図っていく。

コロナそれに続くウクライナ問題は、遠い世界の裏側の話でなく、当法人の未来にも暗雲をもたらしている。しかし、我々が目指すべきことは、この激動する情勢の変化に臨機応変に対応することは無論、今この地で担うこれら事業を維持し安定をはかり、さらに進化させていくことであると考ええる。

役職員はもちろん、関係する方々全てを巻き込み、共に地域に貢献しながら、関わる皆の「しあわせ」の実現を目指していく。

以上を今年度の活動方針とし、この目的達成のために役職員が一丸となり取り組む。

## 2. 施設の概要

施設名	ケアハウス ふるさと	本楯保育園	鳥海学童クラブ
事業内容	軽費老人ホーム(ケアハウス) (介護予防)特定施設入居者 生活介護事業所	保育所	放課後児童健全育成事業所
施設の位置	酒田市豊原字大坪37番地	酒田市本楯字前田65番地の1	酒田市本楯字前田89番地2 旧鳥海小学校内
敷地面積	5,086.00㎡	2,853.337㎡ (酒田市からの無償借地)	酒田市所有物件
建物面積	2,879.27㎡	614.47㎡	343.75㎡
定員	50名	60名	36～45名
構造	鉄筋コンクリート一部3階建て	木造平屋建て	
設備	居室・・・44室 (個人用、トイレ・台所付) 居室・・・3室 (夫婦用、トイレ・台所付) 食堂・娯楽室 事務室・相談室・厨房 診察室・談話室 宿直室 男子浴室・女子浴室・個別浴室 冷暖房設備(全館) 冷房設備(一部) 放送設備 エレベーター(地上3階)	保育室・・・3室 乳児室・・・2室 ホフク室・・・2室 調乳室・・・2室 トイレ園児用・・・2ヶ所 遊戯室・教材室・遊具倉庫・沐浴室・医務室・調理室・食品庫・事務室・機械室 トイレ職員用・・・1ヶ所 冷暖房設備・暖房設備・冷房設備 放送設備	

### 3. 職員配置

( )内は兼務職再掲 令和5年4月1日見込

	軽費老人ホーム(ケアハウス)
施設長(事務長兼務)	1
生活指導員	1
看護職員	1
介護員	6
栄養士	1
調理員	4
機能訓練指導員(看護職兼務)	(1)
介護支援専門員(介護職兼務)	(1)
事務(本部事務兼務)	(1)
合計	15

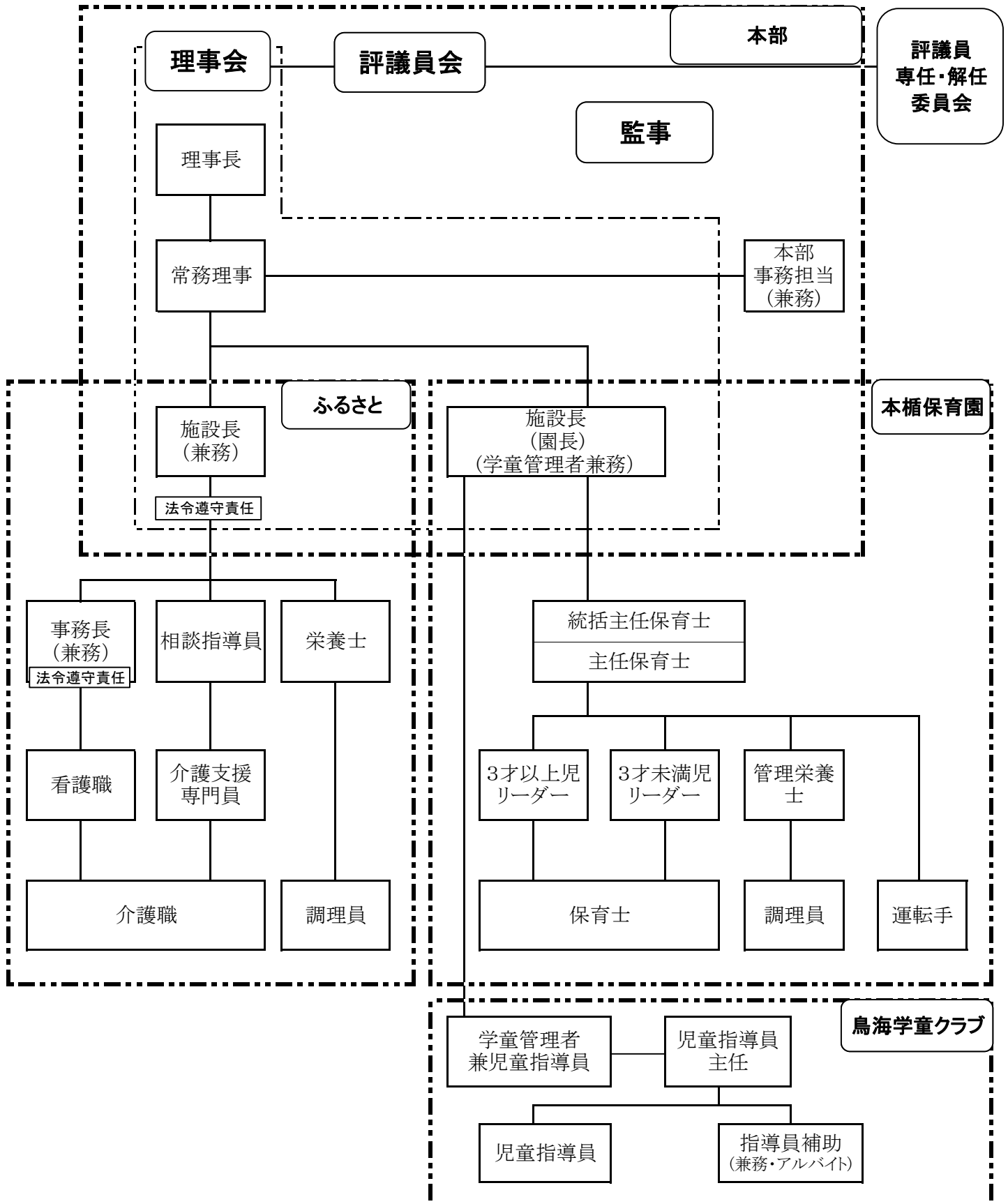
( )内は兼務職再掲 令和5年4月1日見込

	本楯保育園
施設長(園長・学保管理兼務)	1
統括主任(主任)保育士	2
保育士	11
保育士(臨時雇用)	2
看護師	0
保育助手(臨時雇用)	2
管理栄養士	1
調理員	2
調理員(臨時雇用)	0
事務(本部事務兼務)	(1)
運転手(臨時雇用)	1
合計	23

( )内は兼務職再掲 令和5年4月1日見込

	鳥海学童クラブ
児童指導員(管理者)	(1)
児童指導員	3
児童指導員補助員(本部事務兼務)	1
補助員(アルバイト)	0
合計	5

#### 4. 組織図・職員配置表



## 5-1 運営方針及び方法

### 【ケアハウス ふるさと】

- ① 入所者のために、施設として果たすべき役割を全うし、その限界に挑戦するとともに、各関連機関と密接なつながりを構築し、情報ネットワークをより安心できる体制をより充実させていく。
- ② 入所者のプライバシーを尊重し、緊急時の対応については絶対の信頼を入所者から得られるようにする。
- ③ 利用者の自立性を高めるための自治会を、日常生活における交流はもとより地域での活動の中でも独立した自治会として参画し、コロナにより失われた関係を再構築するよう、地域貢献も含めた活動をするようにする。
- ④ ボランティアの受け入れや、隣接する学校や地域との連携をはかり、人の出入りを多くし、賑やかな施設になるよう活動する。
- ⑤ 様々な小グループのサークル活動をさらに企画し、立ち上げ、有識者からの協力を得ながら、入所者の日常生活の活性化をはかる。
- ⑥ 食材は極力地元から直接購入をはかり、安全で美味しい食事を安定的に提供することにより、地域への還元をもはかる。
- ⑦ 職員全員の接遇・知識・技術の向上を常にはかり、資質の向上をめざす。
- ⑧ 設備の大規模改修を終えたが、今後も将来を見据えた投資も視野に入れ、常に安定した経営・運営をこころがけ、施設としての信頼はもとより社会的信頼も得るよう努力する。

### 【継続及び新たな取り組みについて】

- ⑨ 特定施設入居者生活介護事業所として、更なる研究と研鑽をはかり、介護保険制度との整合性及び医療との連携を図りながら、老人福祉施設としてのありかた、そして新規事業への取組の模索を継続する。
- ⑩ 介護保険制度で取り上げられている「介護予防事業」について、既に実施している事業とすり合わせを行い、軽費老人ホームとして取り組むべきことを模索する。
- ⑪ 施設・設備の大規模改修を終えた設備等の機能を最大限運営に活用し、省エネを実現しながらも快適な生活ができるよう、持続可能な開発目標(SDG's)に基づく目標を達成するよう取り組んでいく。
- ⑫ 物価高騰に対応するにも経営努力での対応は限界となっている。制度の見直しまたは対応を、所轄官庁に訴え改善を要求し実現を目指す。

## 5-2 ケアハウス部門別運営方針及び方法

### 【生活相談員】

#### 活動方針及び方法

1. 待機者を確保し、入退居の流れをスムーズに行う。

#### 【目的】

居室稼働率を向上させ、安定した収入につなげる。

### 【方法・頻度】

- ① 法人内事業所、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、エリア内各病院相談室等へチラシを配布、ホームページやブログを活用し、空き室状況の発信を行う。
- ② 2人部屋の稼働率向上のため、単身利用や冬期間の活用でも柔軟に対応する。
- ③ 入居相談一覧表を活用し、空き室・待機者・相談状況を全職員で共有する。

## 2. 一般入居者との関わりを増やし、家族や関係機関との連携を図る。

### 【目的】

入居者が心身共に落ち着いた状態で、本人の望む生活を送ってもらう。

### 【方法・頻度】

- ① 居室訪問や入居者と会話をする時間を作り、不安解消・処遇改善を図る。
- ② 必要に応じ、家族及び保証人との面談を実施し、適切な関係機関へ繋げる。
- ③ 臨機応変に、ケアマネや訪問介護・通所・医療機関などへ情報提供を行う。外部サービスを利用する入居者のサービス担当者会議に参加し、情報を提供・共有する。
- ④ 苦情報告の窓口として、施設に対する要望をくみ上げる。

## 【介護支援専門員】

### 活動方針及び方法

自立支援に向けたケアプランの作成と統一したサービスの提供

### 【目的】

入居者の体調を維持し心身ともに健康で活動的な生活を継続する

### 【方法・頻度】

- ① 多職種との連携や家族と情報共有を行いながら心身と生活状況の把握に努め、入居者各自の自立に向け、アセスメント・評価を行い適切なケアプランを作成する。
- ② ケアカンファレンスや定例会議等で、職員間で情報共有しサービスを統一する。
- ③ 確実な介護保険更新の手続きと、酒田市の高齢者福祉事業の提案と申請の代行。
- ④ 主治医への生活情報の提供・共有により、連携を図り体調管理につなげる。
- ⑤ 日課としての体操や散歩の継続を促し、活動性を高め、閉じこもりを防ぐ。
- ⑥ オンラインも利用しながら研修参加し、専門知識を深めサービスの質の向上を図る。

## 【看護部門】

### 活動方針及び方法

## 1. 入居者の健康維持と疾病予防

### 【目的】

心身共に健康で安心した生活が送れる

### 【方法・頻度】

- ① 年一回の高齢者健診及び結核健診の実施
- ② 流行性、感染性疾患の早期予防のためのポスター掲示、自治会での啓発、予防接種の声掛け。発生時は迅速かつ適切な対応を行う。新型コロナウイルス感染症に対してはマスク着用・手洗い等、予防策を徹底する。



- ③ 加齢に伴う重度化も視野に入れ、日常生活の見守り観察、異常の早期発見、健康相談、月一回の体重測定、血圧測定の実施
- ⑤ 急変時は医療機関やスタッフとの連携を図り速やかな状況対応を行う
- ⑥ 記録の徹底と申し送りによる情報の共有、他職種との協働、連携による速やかな職務の遂行
- ⑦ 中・大浴槽の水質管理
  - ・1回／日、浴槽水の残留塩素測定を実施、数値の安定を図り水質保持に努める
  - ・年二回のレジオネラ菌検査の実施

## 2.職員の健康管理

### 【 目的 】

健康維持と安全な日常業務の遂行

### 【 方法・頻度 】

- ① 年一回の定期健診と予防接種の実施
- ② 夜勤業務のある職員は4ヶ月毎の間診の実施(症状によって受診、健診の検討)
- ③ 勉強会の開催
- ④ 新型コロナウイルス感染症に関し高齢者施設の職員として責任ある行動をとる。
- ⑤ マスク着用、手洗いなどの基本的な感染予防に努める。

## 【介護部門】

### 活動方針及び方法

#### 1.個別性のある支援と関わり

##### 【 目的 】

個々の本心を引き出し、その人らしい生活を支える介護

##### 【方法・頻度】

- ① 入居者の言葉を傾聴・受容し、不安や不満、悩みを打ち明けられる関係を築く
- ② 個々のニーズの変化を把握し適切な関わりにて支援する
- ③ 医療機関等多職種間の連携、個々のニーズを共有し、統一したケアを提供する

#### 2.アクティビティの充実

##### 【 目的 】

新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めながら、気分転換や楽しみを見つけ、閉じこもりのない生活を送って頂く

##### 【方法・頻度】

- ① 活動に目標を持って参加出来るように支援する
- ② 4月より体力作りを兼ねて、月2回の輪投げを行い、年度末(3月)に高得点の方を表彰する。

## 【厨房部門】

## 活動方針及び方法

### 1. 食材費等の維持管理

#### 【 目的 】

取り巻く環境変化の中、食品の日々高騰により食材費が予算額内に収まらない状況が続いており、対策案の検討

#### 【 方法・頻度 】

- ① 食品の日々の価格変動をチェックする
- ② 代替え出来る食材・価格をリストアップしておく
- ③ 献立の変更を臨機応変に取り入れる

### 2. 職員の資質向上

#### 【 目的 】

各自課題を見いだし、その課題内容を追求し向上心の育成にはげ組む

#### 【 方法・頻度 】

- ① 各自 1 つ以上は常に課題を持つ
- ② 業務を通して課題内容の知識を深め、さらなる向上に努める
- ③ 厨房内で業務を行う上で、必要な衛生管理・感染症・嚥下機能についても学び日々の業務に繋げていく

## 5-3 保育園の運営方針及び方法

児童福祉法に基づき、保育を必要とする子どもの保育を行う。保育は次の保育方針の基で行う。

1. 保育園を通して乳幼児期にふさわしい生活の場を提供しながら、子どもの生活環境や発達段階を踏まえ、必要に応じて一体的に支援する体制を作り上げる。
2. 就学へのスムーズな移行を考えたカリキュラムを取り入れ、興味や関心を高め、視野を広げた物の見方が出来るような活動や子ども達の吸収する力を引き出す関わりを大切にする。非認知能力を重要視した保育の展開を行う。
3. 本楯という地域性を生かし、地域の先生や地域の行事との繋がりを大切にし、保育に取り入れ、地産地消に力を入れたその土地ならではの食材を利用した給食の提供など地域全体で子どもを支えていく架け橋としての役割を担う。
4. 乳幼児期の子どもの育ちをよく理解した上で、個々それぞれの育ちに寄り添いながら心身の成長を保護者と一緒に喜び共感でき、また早い段階で育児に関する保護者の悩みに気づき支援できる保育士のスキルを身につける。
5. 野菜やお米の出来る過程を間近で見ることが出来る活動を保育に取り入れる。食材に感謝する気持ちを持ち、野菜や稲の生長を通して興味や関心を高め、食の大切さを知ってもらう食育活動を充実させる。

6. 園で出来る保護者支援として0. 1歳児のオムツの無償化、通園バス料金の無償化、延長保育料の無償化、日曜日保育の実施を掲げ保護者の経済的、育児的負担軽減を図りながら、少子化による園運営の安定した入所数の確保を目指す。

#### 【 保育部門 】

- ① 質の高い保育を展開するため、積極的に研修会や学会へ参加する。医療・大学・研究機関や他専門職とこれまでの前例や概念にとらわれない「連携」を構築しながら保育のあり方だけでなく、全職員のスキル向上を図る。園全体の「保育の質」の向上を柱とし保育全体の質向上につなげ、関わる子供たちのよりよい健全な成長に貢献する。
- ② 外部の講師からの指導と定期的な内部研修を実施し、職員間の保育の統一、新人職員向けの研修などに力を入れていく。自分に必要な研修を選別し積極的に受講し、フィードバックと共有を行うことで共に保育スキルを高め合う。
- ③ 子ども達が楽しめる新しい企画や、面白くても発達や成長に繋がるようなイベント、地域行事の参加等本楯保育園らしさを発揮した企画を計画し、様々な発信源を使って宣伝も積極的に行う。
- ④ 発達支援に力を入れた保育を展開する。

#### 【 調理部門 】

- ① 地域の方の協力を得ながら野菜・米の栽培に触れることで、食に関する興味関心を引き出す事を大切に食育活動を行う。
- ② 安心・安全な食材を利用し、子ども達の健やかな成長を第一に考えた給食、日々の手作りおやつを通して楽しみと思える給食作りを行う。
- ③ 食物アレルギーの子どもに対しては、主治医の指示の下家庭と連携を図りながら安全に食事の提供を行う。
- ④ 職員同士協力し合い、人材育成と全体的な技術面の向上を図る。

## 5-4 学童保育クラブの運営方針及び方法

### 【鳥海学童クラブ】

1. 働く親達に変わり、みんなが楽しくほっとできる場所をつくる。
2. 集団生活の中でコミュニケーションを図りながら成長を助長する。
3. 地域・学校・行政等と連携し「愛される学童」になる。
4. 職員は「プロフェッショナル」として常に研鑽する。

#### 【 方法 】

- ① 子ども一人一人の個性を活かし、その子にあった生活の場を提供する。
- ② 指導員のスキルアップの為、講演会や勉強会にすすんで参加し、一人ひとりの子供に合った対応方法を指導員同士で話し合い共有する。
- ③ 地域との交流を図るため、年に数回子供達と一緒に遊びや紙芝居など楽しみの機会をつくる。

## 6. 会議

法人運営基本方針及び施設運営方針の目的の達成、及び業務の円滑な運営をはかるため、次の会議を設置する。

会議名	開催日	出席対象 役職名	備考
① 理事会	5月 3月 必要時随時開催	理事 監事	法人運営方針決定他定款に定める議決決定
② 評議員会	6月 必要時随時開催	理事長 評議員 監事	法人運営にかかる諮問
③ 職員(運営)会議	毎月(必要時随時開催)	理事長 施設長 他全職員	施設運営にかかる協議・決定他
④ 入所判定会議	申込み時随時	施設長 事務長 指導員 栄養士	入退所にかかる決定他
⑤ 介護員会議	毎月(他必要時随時開催)	施設長 事務長 指導員 介護員	業務・入所者処遇にかかる協議・決定他
⑥ 厨房会議	毎月(他必要時随時開催)	施設長 栄養士 調理員	業務・入所者処遇(給食関係に限る)にかかる協議・決定他

## 7. 研修

役職員の知識・技術向上をはかるため、各関係機関主催の研修会・学会に出きる限り参加するようにし、健全な経営を目指すとともに最終的には入所者処遇の向上を目指す。参加者についてはその都度参加資格及び実績等をふまえた上で協議・検討し決定していく。

会議名	開催日	対象役職 名	備考
① 役職員研修会	県社協・経営者協・他	理事 監事 施設長	開催日未定
② 施設長研修会	県社協・経営者協・他	施設長	開催日未定
③ 指導員研修会	県社協・経営者協・他	指導員	開催日未定
④ 介護職員研修会	県・県社協・経営者協	介護員	開催日未定
⑤ 厨房職員研修会	県・県社協・他	栄養士 調理員	開催日未定
⑥ 学会	各関係学会	全職員	開催日未定

## 8-1 ケアハウス月間行事

月		実施回数	目標・目的
1	なごみの会	随時	昔培った腕前を生かし畑仕事を生きがいや、育てる喜びに繋げる
2	買い物ツアー	月2～3回	必要物品の自己管理と気分転換を図る
3	カフェ	月1回	数種類の飲み物とおやつを準備し注文していただき、会話やゲームを楽しむ
4	書道教室	月1回	精神統一し、満足のいく作品を書き上げる達成感や作品を鑑賞し合ってほどよい刺激を受ける
5	短歌サークル	月1回	心に思っている事や目で見ただ事など五感をフル回転させ言葉にする事で表現力を養う
6	自治会	月1回下旬	生活のレベルアップに繋がるように意見を出し合い住みやすいふるさとを作っていく
7	カラオケ会	月2回	思いきり好きな歌をみんなの前で歌うことで適度な緊張感やストレス発散に繋げる
8	ビデオ鑑賞	週1回	閉じこもり防止
9	ドライブ	随時	いつもと違う場所に出掛けたり食事を摂ることで生活に
10	外食	随時	潤いをあたえる
11	ずんどこ体操	毎週土曜日	筋力低下と閉じこもり予防
12	体重測定	月1回月上旬	入居者の健康状態のチェック、体調や健康に関しての
13	血圧測定	随時	アドバイスや相談
14	市内医療機関送迎	毎週水曜日	市内医療機関の受診の送迎

## 8-2 ケアハウス年間行事

年間行事		実施予定日	目標・目的
4月	花見	中旬	野外に出掛け桜を見ながら春を感じ気分転換を図る
5月	本楯祭り・奴振り	5月3日	地元の伝統行事の祭に参加し、地域との交流を図る
	藤の花見学	上旬～中旬	外の爽やかな空気を触れ、ドライブを兼ね季節の藤の花を皆さんと一緒に見学し楽しむ
	防災訓練	未定	危機感を持って行い急な災害に対応できるよう、防災設備の確認と訓練を行う
6月	地区運動会	上旬	地域の方とのふれ合いを持ち、みんなで楽しく体を動かしながら交流を持つ
	平田植木祭り	上旬	外気に触れ、植木を見て気分転換を図る
	あじさい見学	下旬	気分転換を兼ねて季節の花を眺めながら風情を楽しむ
7月	七夕飾り	上旬～中旬	協力し飾りや短冊作りを行い入居者同士の交流を図る
	ドライブ	中旬	外気に触れ季節感を味わい、心身のリフレッシュを図る
	本楯保育園夏祭り	下旬	地域住民、園児との交流を楽しむ
8月	みんなの夏祭り	中旬	地域の住民として大きな行事に参加し、入居者同士協力し作品作りや、出店等を盛り上げる
	そばツアー	下旬	外に出掛け皆さんで外食を楽しむ
9月	本楯地区敬老会	中旬	地域の会に参加し、住民として一緒にお祝いする
	ふるさと敬老会	中旬～下旬	特別行事食とし、お互いの敬老を祝う
	保育園運動会	下旬	園児と共に競技を楽しむ
10月	ふるさと大運動会	中旬	チームで協力し競技に参加する楽しさと、体を動かす事で体力アップ、閉じこもり防止を図る
	紅葉狩りドライブ	中旬	紅葉を見ながら、ドライブを楽しむ
	防災訓練	未定	災害に対応できるよう防災設備の確認と避難訓練を行う
11月	本楯コミュニティ祭り	上旬	自分の作品や書を展示し地域行事に参加すると共に見てもらう事で自信に繋げる
	鳥海小発表会	上旬	歌の会の成果を皆の前で発表し達成感と喜びを感じる
	ふるさと秋祭り	中旬	ふるさとで収穫した食材も含め、秋の味覚を楽しみながら入居者同士の交流を深める
12月	合唱コンサート	中旬	マリーージュニア合唱団の子供達が歌を披露してくれる
	クリスマス会	下旬	冬景色の中みんなと一緒にテーブルを囲みクリスマスの雰囲気味わいながら楽しい時間を過ごす
	餅つき	12月30日	入居者とスタッフが協力し年末恒例の餅つきを行う
1月	初詣	上旬	神社にお参りし一年間の無病息災を願う
	獅子舞	上旬	伝統的な行事を見学する
2月	豆まき	2月3日	年男・年女の協力を得て豆をまき、厄を払う
3月	ひな祭り	3月3日	雛人形を飾り皆さんの健康を願う

### 8-3 保育園年間行事

月	主 な 行 事
4月	・入園式・なかよし会・保護者役員会・保護者会総会 ・クラス懇談会・お花見会・お祭りっこ
5月	・(うらら、ふるさとおみこし訪問)・畑作り・田植え・内科健診・眼科健診・歯科 検診・耳鼻科検診・交通安全教室・遠足ごっこ
6月	・地区運動会・花いっぱい運動・尿検査(3歳以上児)・引渡し訓練
7月	七夕・プール開き・保護者役員会
8月	夏祭り・プール納め
9月	・運動会・地区敬老会・保護者役員会
10月	・交通安全教室 ・内科健診・さつまいも掘り・稲刈り、脱穀体験
11月	・文化祭作品展示
12月	・クリスマス会 ・ミニクリスマス会
1月	・獅子舞・子ども獅子舞・子ども新年会
2月	・豆まき・お茶レッスン・鳥海小1年生と交流会・相撲大会・交通安全教室・音楽 発表会
3月	・ひなまつり・お別れ会・お茶会・卒園式・保護者役員会

\* 毎月、誕生会・避難訓練・身体計測を実施する。

\* 保育園バスでの園外活動や「うらら」「ほなみ」「ふるさと」との交流活動は随時実施する。

\* 就学前教育保育の充実を目指し、子どもの主体性を伸ばす教育・保育を展開する。学びにつながる体験の多様性・植物栽培・英語で遊ぼう・音楽を楽しもう・読み聞かせ等

### 8-4 学童保育年間行事

4月	・歓迎会、進級おめでとう会 ・手作りおやつ	10月	・ハロウィン ・手作りおやつ
5月	・手作りおやつ ・いちご狩り	11月	・コミュニティ祭作品展示 ・手作りおやつ ・避難訓練
6月	・手作りおやつ ・花植え	12月	・クリスマス会 ・手作りおやつ
7月	・手作りおやつ ・夏祭り・七夕祭り	1月	・新年会 ・手作りおやつ
8月	・避難訓練・水あそび ・手作りおやつ	2月	・節分・バレンタイン ・手作りおやつ
9月	・映画鑑賞・手作りおやつ	3月	・お雛祭り・1年間お疲れ様会 ・地域交流会・手作りおやつ

# 令和5年度 予算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

社会福祉法人 本橋たちばな会  
社会福祉事業

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
事業活動による収支			
収入			
介護保険事業収入	[ 37,950,000]	[ 37,950,000]	[ 0]
居宅介護料収入	( 36,900,000)	( 36,900,000)	( 0)
(介護報酬収入)			
介護報酬収入	32,300,000	32,300,000	0
(利用者負担金収入)			
介護負担金収入(公費)	1,100,000	1,100,000	0
介護負担金収入(一般)	3,500,000	3,500,000	0
その他の事業収入	( 1,050,000)	( 1,050,000)	( 0)
補助金事業収入	1,050,000	1,050,000	0
老人福祉事業収入	[ 90,914,000]	[ 89,290,000]	[ 1,624,000]
措置事業収入	( 10,100,000)	( 10,100,000)	( 0)
事務費収入	10,100,000	10,100,000	0
運営事業収入	( 80,814,000)	( 79,190,000)	( 1,624,000)
管理費収入	15,714,000	15,640,000	74,000
その他の利用料収入	35,700,000	35,150,000	550,000
補助金事業収入	29,400,000	28,400,000	1,000,000
保育事業収入	[ 122,495,500]	[ 121,020,500]	[ 1,475,000]
保育所運営費収入	91,485,000	89,070,000	2,415,000
学童委託費収入	11,670,500	11,670,500	0
私的契約利用料収入	( 885,000)	( 982,000)	( 97,000)
延長保育料収入	65,000	67,000	2,000
バス利用料収入	0	100,000	100,000
一時保育料収入	50,000	45,000	5,000
副食費	770,000	770,000	0
利用者負担金収入	( 4,025,000)	( 3,868,000)	( 157,000)
保育料収入	3,500,000	3,375,000	125,000
入所金収入	45,000	45,000	0
保護者会費収入	480,000	448,000	32,000
その他の事業収入	( 14,430,000)	( 15,430,000)	( 1,000,000)
補助金事業収入	14,430,000	15,430,000	1,000,000
経常経費寄附金収入	[ 300,000]	[ 370,000]	[ 70,000]
受取利息配当金収入	[ 3,200]	[ 3,200]	[ 0]
その他の収入	[ 2,531,000]	[ 2,483,000]	[ 48,000]
受入研修費収入	10,000	10,000	0
利用者等外給食費収入	2,330,000	2,292,000	38,000
雑収入	191,000	181,000	10,000
事業活動収入計(1)	254,193,700	251,116,700	3,077,000
支出			
人件費支出	[ 154,689,000]	[ 154,329,600]	[ 359,400]
職員給料支出	94,350,000	93,877,600	472,400



科 目	予算額	前年度予算額	増 減
職員賞与支出	27,350,000	26,880,000	470,000
非常勤職員給与支出	8,800,000	9,930,000	1,130,000
退職給付支出	1,389,000	1,347,000	42,000
法定福利費支出	22,800,000	22,295,000	505,000
事業費支出	[ 38,391,000]	[ 38,057,000]	[ 334,000]
給食費支出	20,300,000	20,150,000	150,000
保健衛生費支出	445,000	437,000	8,000
被服費支出	10,000	10,000	0
教養娯楽費支出	365,000	360,000	5,000
日用品費支出	520,000	505,000	15,000
保育材料費支出	810,000	790,000	20,000
水道光熱費支出	9,810,000	9,430,000	380,000
消耗器具備品費支出	3,800,000	4,010,000	210,000
保険料支出	240,000	234,000	6,000
賃借料支出	270,000	260,000	10,000
教育指導費支出	400,000	400,000	0
車輛費支出	1,350,000	1,400,000	50,000
雑支出	71,000	71,000	0
事務費支出	[ 28,516,000]	[ 28,882,000]	[ 366,000]
福利厚生費支出	442,000	428,000	14,000
職員被服費支出	190,000	230,000	40,000
旅費交通費支出	452,000	392,000	60,000
研修研究費支出	100,000	60,000	40,000
事務消耗品費支出	670,000	670,000	0
水道光熱費支出	11,500,000	11,300,000	200,000
修繕費支出	2,150,000	2,910,000	760,000
通信運搬費支出	735,000	720,000	15,000
会議費支出	59,000	59,000	0
業務委託費支出	7,055,000	7,055,000	0
手数料支出	313,000	312,000	1,000
保険料支出	1,070,000	1,070,000	0
賃借料支出	800,000	800,000	0
租税公課支出	30,000	30,000	0
保守料支出	2,200,000	2,100,000	100,000
諸会費支出	482,000	478,000	4,000
雑支出	268,000	268,000	0
支払利息支出	[ 2,805,000]	[ 3,072,000]	[ 267,000]
その他の支出	[ 0]	[ 39,000]	[ 39,000]
雑支出	0	39,000	39,000
事業活動支出計(2)	224,401,000	224,379,600	21,400
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	29,792,700	26,737,100	3,055,600
施設整備等による収支			
収入			
施設整備等収入計(4)	0	0	0
支出			
設備資金借入金元金償還支出	[ 18,924,000]	[ 18,924,000]	[ 0]
固定資産取得支出	[ 5,000,000]	[ 517,000]	[ 4,483,000]

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
機械及び装置取得支出	0	517,000	517,000
車輛運搬具取得支出	5,000,000	0	5,000,000
施設整備等支出計(5)	23,924,000	19,441,000	4,483,000
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	23,924,000	19,441,000	4,483,000
その他の活動による収支			
収入			
積立資産取崩収入	[ 12,080,000]	[ 12,076,305]	[ 3,695]
退職給付引当資産取崩収入	80,000	76,305	3,695
人件費積立資産取崩収入	5,000,000	5,000,000	0
施設整備費等積立資産取崩収入	3,000,000	3,000,000	0
修繕費積立資産取崩収入	4,000,000	4,000,000	0
拠点区分間繰入金収入	[ 6,240,000]	[ 6,180,000]	[ 60,000]
その他の活動収入計(7)	18,320,000	18,256,305	63,695
支出			
積立資産支出	[ 17,183,000]	[ 14,131,000]	[ 3,052,000]
退職給付引当資産支出	2,183,000	2,131,000	52,000
その他積立資産支出	6,000,000	5,000,000	1,000,000
施設整備積立資産支出	4,000,000	3,000,000	1,000,000
修繕費積立資産支出	5,000,000	4,000,000	1,000,000
拠点区分間繰入金支出	[ 6,190,000]	[ 6,190,000]	[ 0]
その他の活動支出計(8)	23,373,000	20,321,000	3,052,000
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	5,053,000	2,064,695	2,988,305
予備費支出(10)	0	0	0
当期資金収支差額合計			
(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	815,700	5,231,405	4,415,705
前期末支払資金残高(12)	57,798,898	52,567,493	5,231,405
当期末支払資金残高(11)+(12)	58,614,598	57,798,898	815,700

# 令和5年度 予算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

社会福祉法人 本橋たちばな会  
社会福祉事業  
本部

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
<b>事業活動による収支</b>			
<b>収入</b>			
その他の収入	[ 80,000]	[ 80,000]	[ 0]
利用者等外給食費収入	80,000	80,000	0
<b>事業活動収入計(1)</b>	80,000	80,000	0
<b>支出</b>			
人件費支出	[ 2,749,000]	[ 2,692,000]	[ 57,000]
職員給料支出	1,300,000	1,280,000	20,000
職員賞与支出	850,000	820,000	30,000
退職給付支出	49,000	47,000	2,000
法定福利費支出	550,000	545,000	5,000
<b>事業費支出</b>	[ 5,000]	[ 5,000]	[ 0]
雑支出	5,000	5,000	0
<b>事務費支出</b>	[ 312,000]	[ 312,000]	[ 0]
福利厚生費支出	60,000	60,000	0
職員被服費支出	15,000	15,000	0
旅費交通費支出	130,000	130,000	0
事務消耗品費支出	40,000	40,000	0
通信運搬費支出	5,000	5,000	0
会議費支出	8,000	8,000	0
業務委託費支出	15,000	15,000	0
手数料支出	15,000	15,000	0
諸会費支出	4,000	4,000	0
雑支出	20,000	20,000	0
<b>事業活動支出計(2)</b>	3,066,000	3,009,000	57,000
<b>事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)</b>	2,986,000	2,929,000	57,000
<b>施設整備等による収支</b>			
<b>収入</b>			
施設整備等収入計(4)	0	0	0
<b>支出</b>			
施設整備等支出計(5)	0	0	0
<b>施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)</b>	0	0	0
<b>その他の活動による収支</b>			
<b>収入</b>			
拠点区分間繰入金収入	[ 3,100,000]	[ 3,040,000]	[ 60,000]
<b>その他の活動収入計(7)</b>	3,100,000	3,040,000	60,000
<b>支出</b>			
積立資産支出	[ 83,000]	[ 81,000]	[ 2,000]
退職給付引当資産支出	83,000	81,000	2,000
<b>その他の活動支出計(8)</b>	83,000	81,000	2,000
<b>その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)</b>	3,017,000	2,959,000	58,000
<b>予備費支出(10)</b>	0	0	0

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
当期資金収支差額合計			
(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	31,000	30,000	1,000
前期末支払資金残高(12)	34,615	4,615	30,000
当期末支払資金残高(11)+(12)	65,615	34,615	31,000

# 令和5年度 予算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

社会福祉法人 本橋たちばな会  
社会福祉事業  
ケアハウスふるさと

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
事業活動による収支			
収入			
介護保険事業収入	[ 37,950,000]	[ 37,950,000]	[ 0]
居宅介護料収入	( 36,900,000)	( 36,900,000)	( 0)
(介護報酬収入)			
介護報酬収入	32,300,000	32,300,000	0
(利用者負担金収入)			
介護負担金収入(公費)	1,100,000	1,100,000	0
介護負担金収入(一般)	3,500,000	3,500,000	0
その他の事業収入	( 1,050,000)	( 1,050,000)	( 0)
補助金事業収入	1,050,000	1,050,000	0
老人福祉事業収入	[ 90,914,000]	[ 89,290,000]	[ 1,624,000]
措置事業収入	( 10,100,000)	( 10,100,000)	( 0)
事務費収入	10,100,000	10,100,000	0
運営事業収入	( 80,814,000)	( 79,190,000)	( 1,624,000)
管理費収入	15,714,000	15,640,000	74,000
その他の利用料収入	35,700,000	35,150,000	550,000
補助金事業収入	29,400,000	28,400,000	1,000,000
経常経費寄附金収入	[ 300,000]	[ 370,000]	[ 70,000]
受取利息配当金収入	[ 1,000]	[ 1,000]	[ 0]
その他の収入	[ 1,030,000]	[ 1,010,000]	[ 20,000]
利用者等外給食費収入	880,000	870,000	10,000
雑収入	150,000	140,000	10,000
事業活動収入計(1)	130,195,000	128,621,000	1,574,000
支出			
人件費支出	[ 63,240,000]	[ 63,520,000]	[ 280,000]
職員給料支出	43,300,000	43,200,000	100,000
職員賞与支出	10,900,000	10,860,000	40,000
非常勤職員給与支出	0	530,000	530,000
退職給付支出	240,000	230,000	10,000
法定福利費支出	8,800,000	8,700,000	100,000
事業費支出	[ 24,105,000]	[ 24,110,000]	[ 5,000]
給食費支出	15,100,000	15,000,000	100,000
保健衛生費支出	135,000	135,000	0
被服費支出	10,000	10,000	0
教養娯楽費支出	90,000	95,000	5,000
日用品費支出	140,000	140,000	0
水道光熱費支出	6,000,000	5,800,000	200,000
消耗器具備品費支出	2,000,000	2,250,000	250,000
賃借料支出	160,000	160,000	0
車輛費支出	450,000	500,000	50,000
雑支出	20,000	20,000	0

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
事務費支出	[ 22,016,000]	[ 22,542,000]	[ 526,000]
福利厚生費支出	160,000	160,000	0
職員被服費支出	25,000	25,000	0
旅費交通費支出	22,000	22,000	0
研修研究費支出	10,000	10,000	0
事務消耗品費支出	240,000	270,000	30,000
水道光熱費支出	11,500,000	11,300,000	200,000
修繕費支出	1,700,000	2,500,000	800,000
通信運搬費支出	270,000	270,000	0
会議費支出	1,000	1,000	0
業務委託費支出	4,130,000	4,130,000	0
手数料支出	90,000	90,000	0
保険料支出	830,000	830,000	0
賃借料支出	800,000	800,000	0
租税公課支出	30,000	30,000	0
保守料支出	1,800,000	1,700,000	100,000
諸会費支出	325,000	321,000	4,000
雑支出	83,000	83,000	0
支払利息支出	[ 2,805,000]	[ 3,072,000]	[ 267,000]
事業活動支出計(2)	112,166,000	113,244,000	1,078,000
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	18,029,000	15,377,000	2,652,000
施設整備等による収支			
収入			
施設整備等収入計(4)	0	0	0
支出			
設備資金借入金元金償還支出	[ 18,924,000]	[ 18,924,000]	[ 0]
施設整備等支出計(5)	18,924,000	18,924,000	0
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	18,924,000	18,924,000	0
その他の活動による収支			
収入			
拠点区分間繰入金収入	[ 3,140,000]	[ 3,140,000]	[ 0]
その他の活動収入計(7)	3,140,000	3,140,000	0
支出			
積立資産支出	[ 630,000]	[ 620,000]	[ 10,000]
退職給付引当資産支出	630,000	620,000	10,000
拠点区分間繰入金支出	[ 1,560,000]	[ 1,560,000]	[ 0]
その他の活動支出計(8)	2,190,000	2,180,000	10,000
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	950,000	960,000	10,000
予備費支出(10)	0	0	0
当期資金収支差額合計			
(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	55,000	2,587,000	2,642,000
前期末支払資金残高(12)	23,914,462	26,501,462	2,587,000
当期末支払資金残高(11)+(12)	23,969,462	23,914,462	55,000

# 令和5年度 予算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

社会福祉法人 本楯たちばな会  
社会福祉事業  
本楯保育園

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
事業活動による収支			
収入			
保育事業収入	[ 105,805,000]	[ 104,487,000]	[ 1,318,000]
保育所運営費収入	91,485,000	89,070,000	2,415,000
私的契約利用料収入	( 820,000)	( 917,000)	( 97,000)
延長保育料収入	0	2,000	2,000
バス利用料収入	0	100,000	100,000
一時保育料収入	50,000	45,000	5,000
副食費	770,000	770,000	0
その他の事業収入	( 13,500,000)	( 14,500,000)	( 1,000,000)
補助金事業収入	13,500,000	14,500,000	1,000,000
受取利息配当金収入	[ 1,200]	[ 1,200]	[ 0]
その他の収入	[ 1,170,000]	[ 1,170,000]	[ 0]
受入研修費収入	10,000	10,000	0
利用者等外給食費収入	1,120,000	1,120,000	0
雑収入	40,000	40,000	0
事業活動収入計(1)	106,976,200	105,658,200	1,318,000
支出			
人件費支出	[ 75,700,000]	[ 75,090,000]	[ 610,000]
職員給料支出	45,000,000	44,700,000	300,000
職員賞与支出	13,400,000	13,100,000	300,000
非常勤職員給与支出	5,100,000	5,400,000	300,000
退職給付支出	900,000	890,000	10,000
法定福利費支出	11,300,000	11,000,000	300,000
事業費支出	[ 12,280,000]	[ 12,075,000]	[ 205,000]
給食費支出	5,200,000	5,150,000	50,000
保健衛生費支出	180,000	175,000	5,000
教養娯楽費支出	185,000	185,000	0
日用品費支出	280,000	280,000	0
保育材料費支出	490,000	490,000	0
水道光熱費支出	3,450,000	3,300,000	150,000
消耗器具備品費支出	900,000	900,000	0
保険料支出	200,000	200,000	0
賃借料支出	50,000	50,000	0
教育指導費支出	400,000	400,000	0
車輛費支出	900,000	900,000	0
雑支出	45,000	45,000	0
事務費支出	[ 5,735,000]	[ 5,620,000]	[ 115,000]
福利厚生費支出	150,000	140,000	10,000
職員被服費支出	100,000	140,000	40,000
旅費交通費支出	300,000	240,000	60,000
研修研究費支出	60,000	40,000	20,000

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
事務消耗品費支出	350,000	330,000	20,000
修繕費支出	450,000	410,000	40,000
通信運搬費支出	240,000	235,000	5,000
会議費支出	50,000	50,000	0
業務委託費支出	2,900,000	2,900,000	0
手数料支出	190,000	190,000	0
保険料支出	240,000	240,000	0
保守料支出	400,000	400,000	0
諸会費支出	145,000	145,000	0
雑支出	160,000	160,000	0
その他の支出	[ 0]	[ 39,000]	[ 39,000]
雑支出	0	39,000	39,000
事業活動支出計(2)	93,715,000	92,824,000	891,000
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	13,261,200	12,834,200	427,000
施設整備等による収支			
収入			
施設整備等収入計(4)	0	0	0
支出			
固定資産取得支出	[ 5,000,000]	[ 517,000]	[ 4,483,000]
機械及び装置取得支出	0	517,000	517,000
車輛運搬具取得支出	5,000,000	0	5,000,000
施設整備等支出計(5)	5,000,000	517,000	4,483,000
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	5,000,000	517,000	4,483,000
その他の活動による収支			
収入			
積立資産取崩収入	[ 12,080,000]	[ 12,076,305]	[ 3,695]
退職給付引当資産取崩収入	80,000	76,305	3,695
人件費積立資産取崩収入	5,000,000	5,000,000	0
施設整備費等積立資産取崩収入	3,000,000	3,000,000	0
修繕費積立資産取崩収入	4,000,000	4,000,000	0
その他の活動収入計(7)	12,080,000	12,076,305	3,695
支出			
積立資産支出	[ 16,300,000]	[ 13,280,000]	[ 3,020,000]
退職給付引当資産支出	1,300,000	1,280,000	20,000
その他積立資産支出	6,000,000	5,000,000	1,000,000
施設整備積立資産支出	4,000,000	3,000,000	1,000,000
修繕費積立資産支出	5,000,000	4,000,000	1,000,000
拠点区分間繰入金支出	[ 3,380,000]	[ 3,380,000]	[ 0]
その他の活動支出計(8)	19,680,000	16,660,000	3,020,000
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	7,600,000	4,583,695	3,016,305
予備費支出(10)	0	0	0
当期資金収支差額合計			
(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	661,200	7,733,505	7,072,305
前期末支払資金残高(12)	25,771,391	18,037,886	7,733,505
当期末支払資金残高(11)+(12)	26,432,591	25,771,391	661,200



# 令和5年度 予算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

社会福祉法人 本橋たちばな会  
社会福祉事業  
鳥海学童クラブ

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
事業活動による収支			
収入			
保育事業収入	[ 16,690,500]	[ 16,533,500]	[ 157,000]
学童委託費収入	11,670,500	11,670,500	0
私的契約利用料収入	( 65,000)	( 65,000)	( 0)
延長保育料収入	65,000	65,000	0
利用者負担金収入	( 4,025,000)	( 3,868,000)	( 157,000)
保育料収入	3,500,000	3,375,000	125,000
入所金収入	45,000	45,000	0
保護者会費収入	480,000	448,000	32,000
その他の事業収入	( 930,000)	( 930,000)	( 0)
補助金事業収入	930,000	930,000	0
受取利息配当金収入	[ 1,000]	[ 1,000]	[ 0]
その他の収入	[ 251,000]	[ 223,000]	[ 28,000]
利用者等外給食費収入	250,000	222,000	28,000
雑収入	1,000	1,000	0
事業活動収入計(1)	16,942,500	16,757,500	185,000
支出			
人件費支出	[ 13,000,000]	[ 13,027,600]	[ 27,600]
職員給料支出	4,750,000	4,697,600	52,400
職員賞与支出	2,200,000	2,100,000	100,000
非常勤職員給与支出	3,700,000	4,000,000	300,000
退職給付支出	200,000	180,000	20,000
法定福利費支出	2,150,000	2,050,000	100,000
事業費支出	[ 2,001,000]	[ 1,867,000]	[ 134,000]
保健衛生費支出	130,000	127,000	3,000
教養娯楽費支出	90,000	80,000	10,000
日用品費支出	100,000	85,000	15,000
保育材料費支出	320,000	300,000	20,000
水道光熱費支出	360,000	330,000	30,000
消耗器具備品費支出	900,000	860,000	40,000
保険料支出	40,000	34,000	6,000
賃借料支出	60,000	50,000	10,000
雑支出	1,000	1,000	0
事務費支出	[ 453,000]	[ 408,000]	[ 45,000]
福利厚生費支出	72,000	68,000	4,000
職員被服費支出	50,000	50,000	0
研修研究費支出	30,000	10,000	20,000
事務消耗品費支出	40,000	30,000	10,000
通信運搬費支出	220,000	210,000	10,000
業務委託費支出	10,000	10,000	0
手数料支出	18,000	17,000	1,000

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
諸会費支出	8,000	8,000	0
雑支出	5,000	5,000	0
事業活動支出計(2)	15,454,000	15,302,600	151,400
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	1,488,500	1,454,900	33,600
施設整備等による収支			
収入			
施設整備等収入計(4)	0	0	0
支出			
施設整備等支出計(5)	0	0	0
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0
その他の活動による収支			
収入			
その他の活動収入計(7)	0	0	0
支出			
積立資産支出	[ 170,000]	[ 150,000]	[ 20,000]
退職給付引当資産支出	170,000	150,000	20,000
拠点区分間繰入金支出	[ 1,250,000]	[ 1,250,000]	[ 0]
その他の活動支出計(8)	1,420,000	1,400,000	20,000
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	1,420,000	1,400,000	20,000
予備費支出(10)	0	0	0
当期資金収支差額合計			
(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	68,500	54,900	13,600
前期末支払資金残高(12)	8,078,430	8,023,530	54,900
当期末支払資金残高(11)+(12)	8,146,930	8,078,430	68,500